



▲スペシャルオリンピックス日本の出場激励会の様子

▼柔道プログラムの様子



▲フロアホッケープログラムの様子

- ボランティア募集
- スペシャルオリンピックス日本・和歌山ではボランティアを募集しています。得意なことを生かしてボランティアをはじめませんか。
- ① スポーツトレーニングと一緒に楽しんでいただけの人
 - ② スポーツ経験者・未経験者大歓迎
 - ③ 文化活動と一緒に取り組んでいただける人
 - ④ スポーツ以外の活動の手伝いなど定期的に行なっている体験教室、山登りなど
 - ⑤ 広報活動を一緒に取り組んでいただける人
- 年間を通して行なっている周知活動や会報誌の発行の手伝いなど



▲登山の様子
通常のプログラムとは別に登山やハイキングを実施しています。

●申し込み・問い合わせ
 スペシャルオリンピックス日本・和歌山事務局（紀の川市尾崎79-1 麦の郷紀の川生活支援センター内）
 ☎090-11926-6435
 Eメール：wakayama@son.or.jp
 スペシャルオリンピックス日本・和歌山事務局ホームページ
<https://son.wakajindo.com/>

今大会の成績

- ・大浦 敬汰さん 柔道 準優勝 銀メダル
- ・辻本 涼さん ボウリング 準優勝 銀メダル
- ・辻本 翔さん ボウリング 5位入賞

会員募集について

スペシャルオリンピックスには6歳以上の知的障がいのある全ての人に参加できます。ただし、競技会への参加は8歳以上が対象になります。入会については、スペシャルオリンピックス日本・和歌山事務局までお問い合わせください。



▲陸上プログラムの様子

活動に対するご協力について

スペシャルオリンピックス日本・和歌山の活動資金は、そのほとんどが活動に賛同していただく個人・企業などによる活動賛助金や寄附で成り立っています。活動賛助金・寄附については、スペシャルオリンピックス日本・和歌山事務局までお問い合わせください。

知的障がいのある人たちにスポーツを スペシャルオリンピックス日本で本市の選手が活躍



橋本市は、障がいのある人が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援しています。昨年11月、本市在住の大浦敬汰さん（写真左から2番目）、辻本翔さん（左から3番目）、辻本涼さん（左から4番目）が出場された、知的障がいのある人のスポーツイベント、スペシャルオリンピックス日本についてご紹介します。

【福祉課】

知的障がいのある人たちが
スポーツで活躍できる場を

スペシャルオリンピックスとは
知的障がいのある人たちに、日常的なスポーツトレーニングとその発表の場である競技会を提供し、活動を通して自立と社会参加を促進し応援する団体で、国際的なスポーツ組織です。オリンピックやパラリンピック同様に4年に1度夏季、冬季の世界大会が開催されます。日本では、スペシャルオリンピックス日本が全国大会を主催しており、昨年11月4日～6日の3日間、広島市などで夏季ナショナルゲームが開催されました。

スペシャルオリンピックス日本
本・和歌山の歴史

スペシャルオリンピックス日本は1994年から活動を始めました。和歌山は2006年にスペシャルオリンピックス日本・和歌山設立準備委員会を立ち上げ、2010年にスペシャルオリンピックス日本・和歌山としてナショナルゲーム（全国大会）に参加しました。現在は夏季競技（陸上、サッカー、競泳、ボウリング、柔道）、冬季競技（アルペンスキー、スノーシューイング、フロアホッケー）の8競技を実施し、登録アスリートは約60人になります。

スペシャルオリンピックス日本
本・和歌山の活動

- ・継続的なトレーニングと競技会の提供
- ・一人ひとりに合わせたプログラムの実施
- ・ユニファイドスポーツ（障がいの有無に関係なく一緒にスポーツができる取組み）の推進
- ・スポーツを通じた自立と共生社会地域貢献の実現

など、さまざまな取組みを行なっています。

陸上、競泳、ボウリング、サッカーは、月2回、紀北地方を中心に活動しています。柔道、ボウリングは、月2回日高地方で活動しています。

フロアホッケーは、月2回紀北地方で活動しています。アルペンスキー、スノーシューイングは冬シーズンに合宿を行います。

また、文化的な取組みとして、陶芸教室、アート教室、チャリティーランやジャズマラソンなどにも参加しています。